

上場会社名 GMOペパボ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3633 URL <https://pepabo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 五十島啓人 (TEL) 03-5456-3021  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月19日 配当支払開始予定日 2022年3月22日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月22日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	11,879	7.9	888	△4.2	968	△1.6	715	△13.8
2020年12月期	11,014	23.2	927	18.3	983	17.7	829	52.9

(注) 包括利益 2021年12月期 781百万円(△9.1%) 2020年12月期 860百万円(73.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	135.22	134.47	26.3	11.3	7.5
2020年12月期	159.07	157.86	39.2	13.5	8.4

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 0百万円 2020年12月期 4百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	8,870	2,953	32.9	549.33
2020年12月期	8,211	2,544	30.6	476.66

(参考) 自己資本 2021年12月期 2,938百万円 2020年12月期 2,515百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	669	△278	△392	3,620
2020年12月期	1,253	△5	△78	3,622

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年12月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 81.00	円 銭 81.00	百万円 427	% 50.9	% 20.1
2021年12月期	0.00	0.00	0.00	68.00	68.00	360	50.3	13.3
2022年12月期(予想)	0.00	0.00	0.00	74.00	74.00		50.0	

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通 期	11,482	△3.3	1,143	28.7	1,156	19.5	785	9.7	147.92

（注）第2四半期連結累計期間の連結業績予想は行っておりません。詳細は、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

（注）当社は2022年12月期第1四半期の期首より「収益認識に関する会計基準」等（以下、収益認識基準）の適用を予定しており、業績予想は同基準適用後の数値であります。2022年12月期の適用前での比較は売上高13,674百万円（前期比15.1%増）、営業利益1,135百万円（前期比27.7%増）、経常利益1,148百万円（前期比18.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益779百万円（前期比8.9%増）となります。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年12月期	5,468,700株	2020年12月期	5,468,700株
2021年12月期	161,721株	2020年12月期	191,288株
2021年12月期	5,290,765株	2020年12月期	5,217,364株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

決算説明会資料の入手方法

下記URLより、当社IRサイト内の決算説明会資料をご参照ください。  
なお、2月7日（月）16時頃の掲載予定です。

URL:<https://pdf.pepabo.com/presentation/20220207p.pdf>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションのもと、主に個人の表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しています。

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要が一服した影響を受け「SUZURI」、「minne」のようなフロー型サービスにおいて、流通額が目標を下回ったものの、「ロリポップ!」、「カラーミーショップ」などのストック型サービスが堅調に推移したことから、売上高は過去最高を記録いたしました。一方で、巣ごもり需要の拡大に伴い、前年下期以降にEC関連サービスの体制強化を行ったことにより人件費等の営業費用が増加いたしました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高11,879,940千円（前期比7.9%増）、営業利益888,710千円（前期比4.2%減）、経常利益968,287千円（前期比1.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益715,415千円（前期比13.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバーサービス「ロリポップ!」及びドメイン取得代行サービス「ムームードメイン」等が属しております。

「ロリポップ!」におきましては、2021年10月にレンタルサーバーの調査においてWordPress利用者満足度など3項目でNo. 1を獲得しました。契約件数は「ムームードメイン」との連携強化や、アフィリエイト経由での新規契約獲得により425,982件（前期末比2.1%増）となりました。また、上位プランやオプション機能への誘導強化の結果、顧客単価は398円（前期比6.1%増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、ドメイン更新料の上昇により顧客単価は増加したものの、新規の契約者数が減少し登録ドメイン数は1,171,750件（前期末比2.5%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は4,807,266千円（前期比5.2%増）、セグメント利益は1,474,617千円（前期比8.3%増）となりました。

#### ② EC支援事業

EC支援事業には、月額制ネットショップ作成サービス国内店舗数No. 1の「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。

「カラーミーショップ」におきましては、初期費用無料・月額利用料無料でネットショップを開設できるフリープランの導入を開始したほか、地方銀行や全国商工会連合会との連携を通じ地方創生やDX化促進の取り組みを強化したことから契約件数が46,369件（前期末比12.9%増）となりました。また、販促支援アプリの提供やオプション利用の増加に伴い、顧客単価は3,281円（前期比4.8%増）となりました。なお、当期第2四半期連結累計期間より「カラーミーショップ」の契約件数、顧客単価はフリープランを含めて算出を行っております。

「SUZURI」におきましては、マスクやポアフリースを始めとした新アイテムの追加や夏季のTシャツセール期間の拡充などを実施した結果、会員数は106万人（前期末比51.1%増）となり、当連結会計年度における流通金額は32億円（前期比31.2%増）と順調に成長いたしました。プロモーション等の営業費用も増加いたしました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は4,874,103千円（前期比19.8%増）、セグメント利益は1,117,794千円（前期比7.8%減）となりました。

## ③ ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、国内最大級のハンドメイドマーケット「minne」が属しております。2021年11月には、手芸販売専門店「クラフトハートトーカー」を主力に、手芸用品や衣料品・服飾品、その他生活関連雑貨などを販売する藤久株式会社と業務提携するなど新たな取り組みをはじめました。

「minne」におきましては、作品を探しやすくするためのカテゴリー追加や作品の特徴を登録できる新機能の追加など、機能面の改善や期間限定クーポンの配付などの販促活動を行った結果、当連結会計年度における流通金額は151億円（前期比1.6%増）となりましたが、コンビニ決済やキャリア決済の比率が低下したことで、決済手数料売上が減少しました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は1,952,812千円（前期比1.9%減）、セグメント利益は225,412千円（前期比0.6%減）となりました。

## ④ 金融支援事業

金融支援事業には、連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社が運営するフリーランス向けファクタリングサービス「FREEMANCE」が属しております。

「FREEMANCE」におきましては、「カラーミーショップ」、「SUZURI」、「minne」などの当社サービスとの連携やフリーランスと関係の強い企業との提携や連携を強化したことにより、請求書買取額は28億円（前期比71.4%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は212,784千円（前期比66.5%増）、セグメント損失は139,813千円（前期におけるセグメント損失は299,382千円）となりました。

## ⑤ その他

その他には、連結子会社であるGM0クリエイターズネットワーク株式会社が運営するWebコンテンツ制作事業やブログサービス「JUGEM」が属していましたが、2021年1月にWebコンテンツ制作事業、2021年4月にブログサービス「JUGEM」をそれぞれ事業譲渡いたしました。

以上の結果、当連結会計年度におけるセグメント売上高は32,972千円（前期比87.2%減）、セグメント損失は12,717千円（前期におけるセグメント利益は47,025千円）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は6,943,798千円（前連結会計年度末比295,134千円増）となりました。これは、主に現金及び預金が101,794千円減少した一方で、未収入金が217,789千円、売掛金が129,015千円及び関係会社預け金が100,000千円増加したことによるものです。

## (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は1,926,423千円（同363,429千円増）となりました。これは、主に投資有価証券が186,838千円及びリース資産が155,407千円増加したことによるものであります。

## (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は5,694,155千円（同53,991千円増）となりました。これは、主に未払法人税等が120,353千円及び賞与引当金が58,803千円減少した一方で、前受金が226,669千円増加したことによるものであります。

## (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は222,828千円（同195,738千円増）となりました。これは、主にリース債務が134,323千円及び繰延税金負債が61,777千円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は2,953,237千円（同408,832千円増）となりました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が427,470千円減少した一方で、親会社株主に帰属する当期純利益計上に伴い利益剰余金が715,415千円、その他有価証券評価差額金が66,566千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,794千円減少し、3,620,663千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は669,077千円となりました。

これは、主に未収入金の増加額218,429千円及び売上債権の増加額129,015千円による減少の一方で、税金等調整前当期純利益1,065,248千円による増加の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は278,351千円となりました。

これは、主に事業譲渡による収入100,813千円及び投資事業組合からの分配による収入59,517千円による増加の一方で、無形固定資産の取得による支出216,072千円、投資有価証券の取得による支出149,000千円及び有形固定資産の取得による支出114,167千円による減少の結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は392,520千円となりました。

これは、主にストックオプションの行使による収入54,404千円による増加の一方で、配当金の支払額426,737千円による減少の結果であります。

## (4) 今後の見通し

次期（2022年12月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高11,482百万円、営業利益1,143百万円、経常利益1,156百万円、親会社株主に帰属する当期純利益785百万円を見込んでおります。

セグメント別の業績等の詳細につきましては、本日発表の決算説明会資料をご参照ください。

URL：<https://pdf.pepabo.com/presentation/20220207p.pdf>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
2022年12月期業績予想	11,482	1,143	1,156	785	147.92
2021年12月期実績	11,879	888	968	715	135.22
増減額	△397	255	188	69	-
増減率(%)	△3.3	28.7	19.5	9.7	-

(注) 当社は2022年12月期第1四半期の期首より、収益認識基準の適用を予定しており、業績予想は同基準適用後の数値であります。2022年12月期の適用前での比較は売上高13,674百万円（前期比15.1%増）、営業利益1,135百万円（前期比27.7%増）、経常利益1,148百万円（前期比18.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益779百万円（前期比8.9%増）となります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

環境変化の激しいインターネット業界においては、企業体質の強化及び積極的な事業展開に備えるための内部留保の充実が重要であると考えますが、利益還元も重要な経営課題と認識しております。当社では、事業の成長に基づく中長期的な株式価値の向上とともに、配当性向50%以上を基本として、業績に連動した配当を継続的に実施できる収益力の安定に努めます。

上記の方針に基づき、当期の配当は1株につき普通配当68.00円（配当性向50.3%）とさせていただきます。また、次期の配当につきましては、年間1株当たり74.00円の配当金を予定しており、配当性向は50.0%とさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しておりますが、今後の事業展開や国内外の諸情勢を踏まえた上で、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,472,457	2,370,663
関係会社預け金	1,150,000	1,250,000
売掛金	2,556,315	2,685,330
商品	2,143	6,585
貯蔵品	1,931	2,634
未収入金	246,378	464,168
その他	289,221	259,219
貸倒引当金	△69,784	△94,802
流動資産合計	6,648,664	6,943,798
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	38,980	36,937
工具、器具及び備品（純額）	279,690	232,913
リース資産（純額）	—	155,407
その他	2,459	1,730
有形固定資産合計	321,130	426,989
無形固定資産		
ソフトウェア	398,868	377,318
その他	78,626	175,830
無形固定資産合計	477,494	553,148
投資その他の資産		
投資有価証券	673,115	859,953
繰延税金資産	4,790	—
その他	86,463	86,330
投資その他の資産合計	764,369	946,284
固定資産合計	1,562,994	1,926,423
資産合計	8,211,659	8,870,222



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	254,854	271,552
未払金	2,110,974	2,142,435
リース債務	—	37,826
未払法人税等	275,909	155,556
前受金	1,993,183	2,219,852
預り金	467,488	480,365
賞与引当金	82,293	23,490
役員賞与引当金	12,702	—
ポイント引当金	409	—
資産除去債務	—	427
その他	442,347	362,649
流動負債合計	5,640,164	5,694,155
固定負債		
リース債務	—	134,323
資産除去債務	27,089	26,727
繰延税金負債	—	61,777
固定負債合計	27,089	222,828
負債合計	5,667,253	5,916,984
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	262,224	262,224
資本剰余金	270,057	254,303
利益剰余金	2,214,238	2,502,183
自己株式	△394,709	△333,727
株主資本合計	2,351,810	2,684,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,741	230,307
その他の包括利益累計額合計	163,741	230,307
新株予約権	28,852	14,806
非支配株主持分	—	23,140
純資産合計	2,544,405	2,953,237
負債純資産合計	8,211,659	8,870,222

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	11,014,036	11,879,940
売上原価	4,532,503	5,147,306
売上総利益	6,481,533	6,732,633
販売費及び一般管理費	5,554,286	5,843,923
営業利益	927,246	888,710
営業外収益		
受取利息	818	2,454
受取配当金	2,553	8,569
投資事業組合運用益	44,918	45,414
持分法による投資利益	4,073	612
業務受託料	15,005	13,938
その他	10,013	22,699
営業外収益合計	77,383	93,688
営業外費用		
支払利息	—	866
投資事業組合運用損	7,287	3,000
消費税差額	665	6,094
支払手数料	10,949	—
株式交付費	1,197	2,830
その他	783	1,319
営業外費用合計	20,884	14,111
経常利益	983,746	968,287
特別利益		
投資有価証券売却益	263,813	—
事業譲渡益	—	96,960
特別利益合計	263,813	96,960
特別損失		
イベント中止損失	13,286	—
特別損失合計	13,286	—
税金等調整前当期純利益	1,234,273	1,065,248
法人税、住民税及び事業税	403,387	311,693
法人税等調整額	967	38,139
法人税等合計	404,355	349,833
当期純利益	829,917	715,415
親会社株主に帰属する当期純利益	829,917	715,415

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	829,917	715,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,649	66,566
その他の包括利益合計	30,649	66,566
包括利益	860,567	781,981
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	860,567	781,981

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	159,677	160,004	1,723,191	△456,185	1,586,687
当期変動額					
第三者割当増資による新株発行	102,547	102,547			205,094
剰余金の配当			△338,870		△338,870
親会社株主に帰属する当期純利益			829,917		829,917
連結子会社の増資による持分の増減					
自己株式の取得				△394	△394
自己株式の処分		7,505		61,871	69,376
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	102,547	110,052	491,047	61,476	765,123
当期末残高	262,224	270,057	2,214,238	△394,709	2,351,810

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	133,091	133,091	50,113	—	1,769,892
当期変動額					
第三者割当増資による新株発行					205,094
剰余金の配当					△338,870
親会社株主に帰属する当期純利益					829,917
連結子会社の増資による持分の増減					
自己株式の取得					△394
自己株式の処分					69,376
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	30,649	30,649	△21,260		9,389
当期変動額合計	30,649	30,649	△21,260		774,513
当期末残高	163,741	163,741	28,852	—	2,544,405

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	262,224	270,057	2,214,238	△394,709	2,351,810
当期変動額					
第三者割当増資による 新株発行					
剰余金の配当			△427,470		△427,470
親会社株主に帰属する 当期純利益			715,415		715,415
連結子会社の増資による 持分の増減		△23,140			△23,140
自己株式の取得				△83	△83
自己株式の処分		7,386		61,064	68,451
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△15,753	287,944	60,981	333,173
当期末残高	262,224	254,303	2,502,183	△333,727	2,684,984

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	163,741	163,741	28,852	—	2,544,405
当期変動額					
第三者割当増資による 新株発行					
剰余金の配当					△427,470
親会社株主に帰属する 当期純利益					715,415
連結子会社の増資による 持分の増減				23,140	—
自己株式の取得					△83
自己株式の処分					68,451
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	66,566	66,566	△14,046		52,519
当期変動額合計	66,566	66,566	△14,046	23,140	408,832
当期末残高	230,307	230,307	14,806	23,140	2,953,237

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,234,273	1,065,248
減価償却費	253,728	296,793
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52,041	25,018
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,736	△58,803
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,702	△12,702
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△3,437	△409
投資事業組合運用損益 (△は益)	△37,631	△42,413
持分法による投資損益 (△は益)	△4,073	△612
受取利息及び受取配当金	△3,371	△11,024
支払利息	-	866
投資有価証券売却損益 (△は益)	△263,813	-
事業譲渡損益 (△は益)	-	△96,960
売上債権の増減額 (△は増加)	△513,020	△129,015
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,076	△5,144
未収入金の増減額 (△は増加)	△144,128	△218,429
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,925	23,415
営業未払金の増減額 (△は減少)	58,257	40,302
未払金の増減額 (△は減少)	471,398	47,350
前受金の増減額 (△は減少)	240,613	226,669
預り金の増減額 (△は減少)	84,717	12,876
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	119,715	△74,635
その他	6,417	△5,453
小計	1,559,275	1,082,936
利息及び配当金の受取額	3,361	11,018
利息の支払額	-	△866
法人税等の支払額	△309,274	△424,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,253,362	669,077
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△159,821	△114,167
無形固定資産の取得による支出	△201,034	△216,072
投資有価証券の取得による支出	△8,000	△149,000
投資有価証券の売却による収入	267,497	-
事業譲渡による収入	-	100,813
投資事業組合からの分配による収入	95,633	59,517
投資有価証券の償還による収入	-	40,000
敷金及び保証金の回収による収入	76	533
その他	2	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,646	△278,351
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△20,104
株式の発行による収入	205,094	-
自己株式の取得による支出	△394	△83
ストックオプションの行使による収入	55,140	54,404
配当金の支払額	△338,660	△426,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,821	△392,520
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,168,895	△1,794
現金及び現金同等物の期首残高	2,453,562	3,622,457
現金及び現金同等物の期末残高	3,622,457	3,620,663

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動資産」の「その他」に含めていた「未収入金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の「未収入金」246,378千円を独立掲記する変更をしております。

(連結損益計算書表)

前連結会計年度において、「営業外損失」の「その他」に含めていた「株式交付費」及び「消費税差額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の「株式交付費」1,197千円及び「消費税差額」665千円を独立掲記する変更をしております。

(連結キャッシュフロー・計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の流動資産の増減額」に含めていた「未収入金の増減額(△は増加)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「未収入金の増減額(△は増加)」△144,128千円を独立掲記する変更をしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、個人向けにインターネットサービスを提供しており、「ホスティング事業」「EC支援事業」「ハンドメイド事業」「金融支援事業」の4つを報告セグメントとしております。「ホスティング事業」では、主にサーバーを提供するレンタルサーバーサービスに加えてドメイン取得や活用に関わるドメイン取得サービスを提供しており、「EC支援事業」では、主に電子商取引の運営を支援するネットショップ開業・作成サービスに加えてオリジナルアイテム作成・販売サービスを提供しております。また、「ハンドメイド事業」では、ハンドメイドマーケットサービスを提供しており、「金融支援事業」では、フリーランス向けファクタリングサービスを提供しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援 事業	ハンドメイド 事業	金融支援 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,567,651	4,069,771	1,990,792	127,796	10,756,011	258,025	11,014,036	—	11,014,036
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,567,651	4,069,771	1,990,792	127,796	10,756,011	258,025	11,014,036	—	11,014,036
セグメント利益 又は損失(△)	1,361,987	1,212,092	226,733	△299,382	2,501,431	47,025	2,548,456	△1,621,209	927,246
セグメント資産 (注) 4	694,399	1,107,411	1,531,509	174,937	3,508,259	17,601	3,525,860	4,685,798	8,211,659
その他の項目									
減価償却費(注) 5	131,620	86,319	—	—	217,939	92	218,032	35,696	253,728
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注) 6	196,396	168,722	—	—	365,119	—	365,119	20,501	385,620

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,621,209千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント資産のうち、調整額に含めた報告セグメントに配分していない全社資産の金額は4,685,798千円であり、その主なものは、現金及び預金、関係会社預け金、投資有価証券、管理部門に係る資産等であります。
5. 減価償却費の調整額35,696千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額20,501千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の設備投資であります。



当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	ホスティング 事業	EC支援 事業	ハンドメイド 事業	金融支援 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,807,266	4,874,103	1,952,812	212,784	11,846,967	32,972	11,879,940	—	11,874,940
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,807,266	4,874,103	1,952,812	212,784	11,846,967	32,972	11,874,940	—	11,874,940
セグメント利益 又は損失(△)	1,474,617	1,117,794	225,412	△139,813	2,678,011	△12,717	2,665,293	△1,776,583	888,710
セグメント資産 (注) 4	891,835	1,201,035	1,568,736	369,185	4,030,793	140	4,030,933	4,839,288	8,870,222
その他の項目									
減価償却費(注) 5	158,902	105,682	—	—	264,584	0	264,585	32,202	296,793
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額(注) 6	304,369	158,540	—	—	462,910	—	462,910	16,126	479,036

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。なお、JUGEMについては、2021年4月に事業譲渡しております。
2. セグメント利益の調整額△1,776,583千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント資産のうち、調整額に含めた報告セグメントに配分していない全社資産の金額は4,839,288千円であり、その主なものは、現金及び預金、関係会社預け金、投資有価証券、管理部門に係る資産等であります。
5. 減価償却費の調整額32,202千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費であります。
6. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,126千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の設備投資であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高は、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため記載を省略しています。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客に対する売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高は、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客に対する売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	476円66銭	549円33銭
1株当たり当期純利益金額	159円07銭	135円22銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	157円86銭	134円47銭

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	829,917	715,415
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	829,917	715,415
普通株式の期中平均株式数(株)	5,217,364	5,290,765
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	40,060	29,523
(うち新株予約権(株))	40,060	29,523
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2020年12月31日)	当連結会計年度末 (2021年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,544,405	2,953,237
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	28,852	37,946
(うち新株予約権(千円))	(28,852)	(14,806)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,515,552	2,915,291
1株当たりの純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	5,277,412	5,306,979

(重要な後発事象)

該当事項はありません。